

RT.ワークスが移動支援機器(屋外型)を発売開始・「ISO 13482」の認証取得

ポイント

- ・ 移動支援機器(屋外型)で初めて、生活支援ロボットの安全性に関する国際規格ISO 13482に基づく認証を取得
- ・ RT.ワークス株式会社はロボット介護機器・導入促進事業の開発成果である「ロボットアシストウォーカーRT.1」の発売を開始



背景

歩行能力の低下により単独での歩行が困難になった方は、介護者への気兼ねから歩行活動が減少し、さらに歩行能力が低下するという悪循環になっていました。

また、ロボット介護機器のように新しい機器に対しては利用者に安全面で不安があり、普及の妨げになっていました。

特長

「ロボットアシストウォーカーRT.1」は、利用者の『自分の足で歩きたい』という欲求に答えることで自立を促します。

- ・ 上り坂では、パワーをアシストすることにより機器の重さを気にせず歩くことができます。
- ・ 下り坂では自動減速機構が働き、急な加速による危険を防ぐことができます。
- ・ 手を離すと自動的にブレーキがかかるため、安全に使用することができます。
- ・ 坂道を斜めに横切の場合や方向転換を行う際にも適切なアシスト力が働くため下り方向に流れません。
- ・ 生活支援ロボットの安全性に関する国際安全規格ISO 13482に基づく認証を取得しているため、安心して使用できます。

今回の成果

一般財団法人日本品質保証機構(JQA/本部:東京都千代田区、理事長:小林 憲明)は本機に対して、生活支援ロボットの安全性に関する国際規格ISO 13482に基づく認証を平成27年7月8日付けで交付しました。

RT.ワークス株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:河野 誠)は、平成27年7月14日、安全かつ快適に歩行を補助する移動支援機器「ロボットアシストウォーカーRT.1」の発売を発表しました。「ロボットアシストウォーカーRT.1」は経済産業省の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」において同社が開発し製品化したもので、経済産業省と厚生労働省が定めた「ロボット技術の介護利用における重点分野」(平成24年11月策定、平成26年2月改定)の「移動支援機器(屋外型)」分野の製品です。

なお、「ロボット介護機器開発・導入促進事業」は平成25年度から平成29年度の5年計画の事業で、平成27年度から国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)が事業の推進、執行を行っています。

※ RT.ワークス株式会社は平成27年度の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」の公募にも、「移動支援機器(屋内型)」分野で応募し採択されました。AMEDは、この重点分野の開発でも引き続きRT.ワークス株式会社を補助していくとともに、基準策定・評価コンソーシアムを通して環境整備等の支援をしていく予定です。